

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2007-289335(P2007-289335A)

【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-043

【出願番号】特願2006-119403(P2006-119403)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 6 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月22日(2009.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データに基づいて肺野領域抽出処理を行う肺野領域抽出手段と、この肺野領域抽出手段で抽出した肺野領域内から肺気腫領域の検出処理を行う肺気腫領域検出手段と、この肺気腫領域検出手段による肺気腫領域を支援情報としてディスプレイに表示する支援情報表示手段とを備えた医用画像診断支援装置において、被検体の姿勢または体位による重力に基づく抽出誤差を考慮した閾値を得るための閾値設定処理を行う肺野領域解析手段を設け、前記肺気腫領域検出手段は、この肺野領域解析手段で得た閾値を用いて肺気腫領域の検出処理を行うことを特徴とする医用画像診断支援装置。

【請求項2】

前記肺野領域解析手段は、被検体に対して重力が作用する方向に複数の部分空間を形成するように前記肺野領域を分割して各部分空間毎に前記閾値を得ることを特徴とする請求項1に記載の医用画像診断支援装置。

【請求項3】

前記肺野領域解析手段は、前記部分空間ごとに設定された閾値を補間処理することにより得られた閾値補正曲線に基づき、前期肺気腫領域検出手段が肺気腫領域の検出処理に用いる閾値設定曲線を設定することを特徴とする請求項2記載の医用画像診断支援装置。

【請求項4】

各断層像単位で前記肺野領域の面積、平均値、標準偏差、平均値の95%信頼区間の上限値および下限値、また各断層像単位で前記肺気腫領域の面積、割合、平均値、標準偏差、平均値の95%信頼区間の上限値および下限値の少なくともいずれか一つを支援情報として算出する計測結果解析手段を設けたことを特徴とする請求項1~3のいずれかに記載の医用画像診断支援装置。